

酸滴下に対する染色堅ろう度試験方法

Testing method for colour fastness to acid spotting

1. **適用範囲** この規格は、染色した繊維品の酸滴下に対する染色堅ろう度試験方法について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 8355 酢酸（試薬）

JIS K 8532 L（＋）－酒石酸（試薬）

JIS K 8951 硫酸（試薬）

JIS L 0801 染色堅ろう度試験方法通則

JIS L 0804 変退色用グレースケール

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 105-E05 Textiles—Tests for colour fastness—Part E05 : Colour fastness to spotting : Acid

2. **要旨** この試験は、規定の濃度に調製した酸の溶液を試験片に滴下し、乾燥後に試験片の変退色の程度を変退色用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する方法である。

3. **種類** 試験の種類は、用いる酸の溶液によって表 1 のとおりとする。試験を行う場合には、目的によってこれらのうちから 1 種類又は 2 種類を行う。

表 1 種類

種類	試験に用いる酸の溶液
無機酸（硫酸）試験	硫酸
有機酸（酢酸）試験	酢酸
有機酸（酒石酸）試験	酒石酸溶液

4. **装置及び材料** 装置及び材料は、次のものを用いる。

(1) **ピペット又は点滴器**

(2) **ガラス棒** 直径 0.8cm、長さ約 15cm の先端を丸めたもの。

(3) **ガラス板** 10×10cm 以上のもの。

(4) **変退色用グレースケール** JIS L 0804 に規定するもの。

(5) **硫酸** 硫酸 (150g/l)⁽¹⁾のもの。

注⁽¹⁾ 硫酸 (50g/l) は、JIS K 8951に規定する硫酸（比重1.84）を用いて作る。

(6) **酢酸** 酢酸 (300g/l)⁽²⁾のもの。

注⁽²⁾ 酢酸 (300g/l) は、JIS K 8355に規定する酢酸を用いて作る。

(7) **酒石酸溶液** 酒石酸溶液 (100g/l)⁽³⁾のもの。

注(9) 酒石酸溶液 (100g/l) は、JIS K 8532に規定する L (+) -酒石酸を用いて作る。これは、試験片がアセテート繊維の場合に酢酸の代わりに用いる。

5. **試験片の調製** 試験片の調製は、次の場合を除き、JIS L 0801 の 7.2 (試験片の調製) による。

- (1) **試料が糸の場合** 編んで10×4cmの大きさにするか又は10×4cmの大きさのガラス板にその長辺の方向に平行して密に巻き付けて薄い層をつくり、試験片とする。
- (2) **試料がばら繊維の場合** くしけずって押し付け、10×4cmの大きさの薄い層とし、これを10×4cmの大きさのガラス板にセロハン粘着テープなどを用いて取り付け、試験片とする。

6. **操作** 操作は、次のとおり行う。

- (1) 試験片をガラス板上に置き（糸やばら繊維の場合など試験片の調製にガラス板を用いた場合は、この必要はない。）、ピペット又は点滴器を用いて目的に応じた酸の溶液を試験片の中央に2滴程度滴下する。
- (2) 滴下した溶液をガラス棒でよく試験片にしみ込ませ、そのまま自然乾燥させる。

7. **判定** 判定は、試験片に試験液を滴下した部分と滴下しなかった部分との色の開きの程度を、JIS L 0801 の 10. (判定) によって行う。

8. **記録** 試験結果は、JIS L 0801 の 11. (表示) によって次の例のように記録する。

例1. 酸滴下試験（硫酸） 3級(Y)

例2. 酸滴下試験（酒石酸） 4級